

看護部介護科 新入職員年間教育計画

1年後到達目標

1. 組織人、介護専門職としての自覚を持ち、責任と協調性のある行動ができる
2. 基本的な援助技術を習得し、安全安楽な介護を提供することができる
3. 倫理観を持って、患者の人権を尊重した行動ができる

2. 基本的な援助技術を習得し、安全安楽な介護を提供することができる

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
基本姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人を尊重した患者中心の関りを通し、患者の理解、家族との良好な信頼関係を築いていきます</li> <li>・組織における役割を理解し、介護職員として自覚と責任のある行動をします</li> <li>・安全・安楽な最良の介護を提供するために生涯にわたる主体的な自己学習の継続を行います</li> </ul>					
成長段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場の雰囲気や仕事になじみ、チームの一員として周囲との人間関係を良好に保つことができる(職場への適応と職業人としての適応の段階)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活援助を中心とした直接的な介護において、コミュニケーション、知識や判断、介護技術が統合される段階(自立への準備段階)</li> </ul>		
新人の心理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に緊張した状態に置かれているため自分から話しかけられない時期</li> <li>・周囲となじめるか不安な時期</li> <li>・夜勤に入り日勤とは違う緊張感や責任感があり不安な時期、夜勤前に睡眠がとれない</li> <li>・覚悟している仕事とそれ以上に厳しい仕事とのギャップを抱く時期</li> <li>・疲れがたまる時期</li> <li>・できないことが多く落ち込む時期</li> <li>(何を勉強したらいいのかわからない、何を聞いたらいいのかわからない、何をメモすればいいのかわからない、自分が他者より劣っていると考えてしまう)</li> </ul>					
新人目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護部の理念・基本方針に沿った正しい態度や接遇を身につける</li> <li>・マニュアルに基づいて安全で正確な介護が実践できる</li> <li>・部署内の物の配置がわかる</li> <li>・助言を受けながら患者の情報を収集することができる</li> <li>・研修に参加することができる</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ない事は指導者に聞き、患者を優先に考え行動する</li> <li>・チームの一員として関係者と協働し情報を共有することができる</li> <li>・報告・連絡・相談をする習慣を身につける</li> <li>・介護実践に必要な知識や技術について、マニュアルやチェックリストを活用できる</li> <li>・健康管理に努め、体調不良時は速やかに相談できる</li> </ul>		
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人介護職員が新しい職場環境に慣れ、適応していく過程を支援する</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員として、業務と役割に対する責任と専門職である自覚を養う</li> </ul>		
指導のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟に溶け込めるように配慮する</li> <li>・新人の居場所をつくる</li> <li>・声掛けを積極的に行う</li> <li>・承認・傾聴の姿勢で関わる</li> <li>・新人の特徴を知る</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・疲れやストレスに気を配る</li> <li>・指導は必ずマニュアル通りに行う</li> <li>・相談しやすい環境をつくる、側にいて気持ちをわかってあげる</li> <li>・計画的に技術を体験させる</li> <li>・計画的に技術を習得できるように援助する</li> <li>・新人のできたことを認め伝える</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の習得度によって所属長と業務についての相談を繰り返す</li> <li>・勤務が違って声掛けを行う。チェックリストの確認、到達状況を把握する</li> <li>・新人が困っていることに対して同じ目線で一緒に考え気付けさせる(話を聴く)</li> <li>・患者さんとの関りで良かったこと、できるようになったことを伝える</li> </ul>	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基本姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人を尊重した患者中心の関りを通し、患者の理解、家族との良好な信頼関係を築いていきます</li> <li>・組織における役割を理解し、介護職員として自覚と責任のある行動をします</li> <li>・安全・安楽な最良の介護を提供するために生涯にわたる主体的な自己学習の継続を行います</li> </ul>					
成長段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活援助を中心とした直接的な介護において、コミュニケーション、知識や判断、介護技術が統合される段階(自立への準備段階)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームの一員として責任ある適切な行動と安全・安楽な介護技術の提供が行える段階(チームの一員としての役割を果たす段階)</li> </ul>		
新人の心理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜勤に入り日勤とは違う緊張感や責任感があり不安な時期、夜勤前に睡眠がとれない</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年が経ち後輩が入ってくるけど先輩としてやっていけるかなど不安の時期</li> </ul>		
新人目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜勤がひとり立ちでき、医療チームの一員として実践する</li> <li>・助言を受けながら急変時の対応ができる</li> <li>・助言を受けながら、患者、家族とのコミュニケーションが図れ、思いや希望を聞き取ることができる</li> <li>・基本的な介護実践を安全・安楽に実施する</li> <li>・組織における役割を理解することができ、行動に移すことができる</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い視野を持ち、介護の質の向上に努力することができる</li> <li>・自己課題や目標達成のための院内研修に参加できる</li> <li>・自己の感情・思考・行動の傾向を知ることができる</li> </ul>		
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理と根拠に基づいた介護実践ができる環境を作る</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護実践能力の向上の支援をして、成長し続ける介護職員を育成する</li> </ul>		
指導のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談しやすい環境をつくる、側にいて気持ちをわかってあげる</li> <li>・計画的に技術を習得できるように援助する</li> <li>・技術の習得度によって所属長と業務についての相談を繰り返す</li> <li>・勤務が違って声掛けを行う、チェックリストの確認、到達状況を把握する</li> <li>・新人が困っていることに対して同じ目線で一緒に考え気付けさせる(話を聴く)</li> <li>・患者さんとの関りで良かったこと、できるようになったことを伝える</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の成長を伝え次年度に向け自信をつけられる関わり</li> </ul>